



2019年2月3日の節分会の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

世間で生業を持ちながら信仰に精進することは並大抵でない苦勞もあるかと思ひます。大聖人は、四条金吾殿御返事で「苦を苦と悟り、楽を楽と開く自受法楽の信心」の大事をお説きです。(趣意・御書991頁)私たちの一生は、どう生きても一生ですが、苦楽に縛られない仏道修行による功德善根は、自らの即身成仏を開き、過去世の先祖等に感謝され、未来に生じてくる子々孫々から尊ばれる、まさに三世一体の法楽に包まれた成仏の姿として必ず顕われます。苦楽の奥にある「法楽」という名玉を取り出せるか否かは、各人の真剣な勤行と唱題にかかっています。そして苦楽を超越した法楽に満ちた境界を開くためにも、大聖人が仰せのままに自行化他の折伏をもって縁ある方を御本尊の元に導いていきましょう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ (前号の続き)

昭和59年、池田大作は、52年教義逸脱等の問題に対する反省の意を表するとし、大石寺開創700年を記念して200ヶ寺を建立寄進する旨、日顕上人に願ひ出ました。これを受け日顕上人は池田の反省の心を汲まれ、池田を法華講総講頭に再任されたのです。その後、池田は宗門への恭順を装っていましたが、平成2年11月16日、ついに増上慢の本性を露わにし、全国の学会員に対し衛生放送をもって、法主誹謗や宗門蔑視をはじめ、昭和53年の「お詫び登山」における反省懺悔を反故にするスピーチを行なったのです。それは法華講総講頭にあるまじき内容でした。これに対して宗門はその真意を確かめるべく努力しましたが、学会は返って敵意を露わにし、その後の破門に至るのです。現在にいたるまでの経緯を正しく知るため法遍寺をお訪ねください。(続きは次号)

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

正しい宗教とは、苦悩に直面している人に対してはもちろんのこと、それ以外の、特別な悩みがないという人に対しても、正しい生命観・人生観に立脚した真実の幸福を獲得する道を説いています。好き嫌いで信仰を判断してはなりません。何故なら正しい信仰は人生の根源の力になるからです。はたして自分の人生の根本を感情で決定してよいでしょうか。自分の真実の幸福は、家族や周囲の人々へ、そして社会の幸せにも通じていくのです。まず真実の仏法に耳を傾けて正しい信仰が必要なことを知ってください。最も大切な宝を忘れていたことにも気づいて頂けます。この法遍寺においてください。お待ちしております。

第25号

法遍寺
から大切な
皆様へ

2019年3月1日

日蓮正宗 年間方針

勇躍前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏推進

誓願達成

罪障消滅

② 講中一結で御講参詣

異体同心の团结

折伏成就

③ 登山参詣で育成推進

心身浄化

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料